

リチャード・メイ・ジュニア米国総領事と語る 文化の懸け橋に ~とくしまの魅力を世界へ発信~



2023年、新しい年を迎えました。今号では、新春特別企画として、リチャード・メイ・ジュニア在大阪・神戸米国総領事と内藤市長の対談の様子をご紹介します。総領事の徳島での生活や思い出、徳島の文化の魅力について語っていただきました。

●**市長** 新年あけましておめでとうございます。本日は、総領事とお会いできることを楽しみにしております。どうぞよろしく申し上げます。
●**総領事** おめでとうございます。私もとてもうれしいです。よろしく申し上げます。

女性が活躍する社会

●**市長** 2021年3月に、在日米国大使館と在大阪・神戸米国総領事館より「勇気ある女性賞(※1)」をいただきました。
●**総領事** 内藤市長の活躍を拝見して、この賞にふさわしいと思いました。本当に日本は女性の首長が少ないですね。将来、もっとたくさんの若い女性に選挙に立候補してもらって、市長や県知事といった仕事を担ってほしいと思っています。
●**市長** 女性の政治家は少ないです。特に首長、市長や町長はもちろん、知事も女性は2人です。こういった名誉ある賞をいただいたことは私の励みになっています。次世代の女性たちに

対して、自分自身もちゃんとしなれないといけないという気持ちにもなりますし、啓発も一緒にいるような形でさせていただければ、と思っています。

●**総領事** アメリカ政府としても女性が活躍しているいい例があれば、積極的に紹介していきたいと思っています。そういう意味で内藤市長は最高の例だと思います。

日本とアメリカの懸け橋に

●**市長** 総領事は昔、徳島にいらっしゃったことがあるということで、そのときのエピソードをお聞かせください。
●**総領事** 文部省(現在の文部科学省)の英語教育プログラムで、私が英語教師としてニューヨークから初めて日本に来た場所が徳島でした。1981年のことですが、徳島に来て、ショッキングな出来事がありました。

まずは、アメリカとの文化の違いです。日本の文化とアメリカの文化は大きく違います。しかし、もっと驚いたのは、都会と地方の環境の違いです。ニューヨークから徳島に着いて、やっぱり「田舎」だなと思いました。でも、生活の中で慣れていきました。徳島市内に住んでいましたが、英語教師として英会話を教えるために、毎日小さい町や村まで行ったことは、素晴らしい経験でした。

去年10月に、文部省の英語教育プログラムの当時のメンバーによる同窓会がありました。41年ぶりに会った人もいて、すごく素晴らしい同窓会でした。そこで徳島を離れる際の、徳

島県教育委員会の先生たちとの送別会の話になりました。その送別会で「私は外交官になりたい、いつか日本とアメリカの懸け橋になりたい」と挨拶したことを思い出しました。あの頃は22歳で、何も将来のことは分からなかったけれど、実際に40年後、実現しました。現在、この仕事でアメリカと日本の強い絆をさらに深めていくことに貢献できるのは私の誇りです。徳島で過ごした経験のおかげだと思っています。

アメリカでの阿波おどり

●**市長** 総領事は、これまでも日本とアメリカの懸け橋になってくださっています。例えば、アメリカに帰って、ニューヨーク市役所にお勤めの時にも阿波おどりを紹介してくださったとお聞きました。
●**総領事** 1985年、私は徳島からニューヨークに帰って、ニューヨーク市役所に勤めていたときに阿波おどりが初めてニューヨークで実演

されました。私が計画したセントラルパークのパレードに阿波おどりの団体として参加したんです。そのパレードは本当に楽しかったです。ニューヨークの人は、伝統的な踊りを見られて楽しんでいました。徳島での経験があったからこそお手伝いできました。
●**市長** 日本の伝統文化でもある阿波おどりを、私自身も世界に発信していきたいと思っています。その礎を総領事のような形で作ってくださったことに対しても敬意を表します。



保護犬や保護猫と共生できるまち

●**市長** 阿波おどりですが、総領事には去年ご覧いただきました。
●**総領事** 去年の8月に40年ぶりに拝見させてもらいました。そのときは犬と一緒に。
●**市長** 総領事のワンちゃんも徳島の施設から引き取られたんですよ。
●**総領事** そうです。NPO法人HEART(以下ハート)(※2)さんのアニマルシェルターから引き取りました。この仕事に着任してから1カ月後、ハートさんから話があって、柴犬が届きました。6歳ぐらいでしたがすごく優しく、その時以来ずっと一緒にいます。お遍路に行くときも一緒にいきます。もうすぐ、もう1匹引き取る予定があるんですが、その犬は娘が飼う予定です。



▲総領事のペット 梅ちゃん(右)と娘さんのペット ゆずちゃん(左)

●**市長** かわいいですね。そういったつながりも総領事と徳島市にはあって、すごくご縁を感じます。徳島市では、ガバメントクラウドファンディングで、ハートさんと一緒に、保護犬や保護猫と共生できるまちづくりを目指しています。きちんと避妊もして、かわいそうな犬や猫が増えないようにすることは、必要なことだと思っています。保護された犬や猫に関しては、総領事のような素晴らしいご家庭に引き取っていただけるように徳島市としても頑張っていきたいと思っています。徳島にそのようなNPOがあるということを誇らしく思います。

魅力的な徳島の食文化

●**市長** 徳島の食では何がお好きですか。
●**総領事** すだちが大好きです。よくお土産として買ったものは鳴門のワカメですね。健康的

リチャード・メイ・ジュニアさん

在大阪・神戸米国総領事

ニューヨーク市出身。1987年に米国国務省に入省。職業外交官として、日本には3度赴任。2020年9月、在大阪・神戸米国総領事館の新総領事として着任。1981年に英語教師として徳島県に1年間赴任して以来、「日米の懸け橋になる」ことを目標に、日米関係の発展に携わっている。



で、フレッシュな食べ物が一番好きです。それから、上勝の「つまもの」も世界中で評判が高いです。日本の綺麗な食文化はとても魅力的です。
●**市長** そうですね。目で見て楽しめそうですし、四季も感じられます。自然と一緒に生きてきた文化ですね。そういった徳島の食についても発信していきたいと思っています。

大阪・関西万博に向けて

●**市長** 関西では、これから大阪・関西万博(※3)を2025年に控えています。そういったときに外国人観光客への観光促進として、徳島の阿波おどりや四国八十八ヶ所などをもっと世界に発信していきたいと思っています。総領事から何かアドバイスやアイデアをいただけますか。
●**総領事** 万博はいいPRの機会だと思います。今まではコロナのためにアメリカからの観光客はあまり来られませんでした。だから、たくさんアメリカ人は日本に行きたいと思っていますし、日本の人気はすごく高いです。でも、海外から来た外国人には東京、大阪、京都のような大都会よりも都会以外の日本の伝統的なところ、つまり私が経験したような、地方の人との交流や本当の「おもてなし」を感じられる徳島のようなところに行っていきたいと思っています。だから、万博の前に、いろいろな徳島の名所をPRできればと思います。お遍路もその一つで、上勝もすごく人気が高いと思いま

す。神島も最近行きました。こういうところは外国人、特にアメリカ人は興味があると思います。だから、ぜひ徳島市ももっとPRしてください。
●**市長** 阿波おどりやひょうたん島クルーズ、眉山のロープウェイなどの徳島市の観光資源をはじめ、イーストとくしま(※4)の会長としても、上勝や神山などの東部圏域と連携し、徳島を世界へ発信していきたいと思っています。



●**市長** 最後に今年の阿波おどりについてはどうでしょうか。
●**総領事** 阿波おどりの有名なフレーズ、「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにや損々」。最近は踊らないから、見る阿呆です。でも、タイミングがよければぜひ踊る方で参加したいですね。
●**市長** では、今年は踊る阿呆になっていただいて、と一緒に踊りましょう。今日はありがとうございました。

~用語説明~

- (※1) 在日米国大使館および在大阪・神戸米国総領事館から、女性の政治分野での活躍や多様性の尊重への貢献が評価され授与された
- (※2) 犬や猫と共に生きていける地域社会をつくることを目的に2006年に設立された動物福祉団体
- (※3) 2025年日本国際博覧会。開催期間は2025年4月13日から2025年10月13日まで
- (※4) (一社)イーストとくしま観光推進機構。徳島県東部圏域15市町村の観光産業の振興や、交流人口の拡大による地域の活性化を促進している法人



対談動画はYouTube徳島市公式チャンネルで公開しています。

